

養鶏・養鶏農場、家きん関係者の皆様へ

中国の家きん農場で今シーズン初の 高病原性鳥インフルエンザウイルス検出！

1月24日（金）に中国湖南省のブロイラー農場（飼養規模7,850羽）で、H5N1亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルス（HPAI）が検出されました。

発生農場では4,500羽が死亡、3,350羽を殺処分、発生地域でも14,478羽を殺処分し、合計17,828羽を殺処分しています。

また、2月9日（日）中国四川省でもH5N6亜型のHPAIが検出されています。湖南省の発生は、中国における今シーズン初めての高病原性鳥インフルエンザの発生となります。

家きん飼養農場を始めとする関係者におかれましては、改めて、防疫対策を徹底いただきますようお願いいたします。

皆様におかれましては、次の侵入防止対策を徹底してください！

- 防鳥ネットや家きん舎の壁などの点検・補修
- 踏み込み消毒槽の薬液交換（常に効果のある状態に、冬場は濃いめが◎）
- 農場出入口、家きん舎周囲を中心とした消石灰の散布（雨の後は再散布を）

**家きん舎の周囲2m幅以上の地面に
消石灰を散布してください！**

死亡羽数の増加等、何か異常がありましたらすぐに当所まで御連絡ください。



【緊急連絡先】

愛知県西部家畜保健衛生所

（家きん担当：高橋、酒井）

0569-72-0344